

茨大聞き書き隊Notes

課外活動

地域交流

代表者：工学部機械工学科 3年 川原涼太郎

連携先

1.

団体名：常総市教育研究会防災教育委員会

職名・氏名：防災教育委員会委員長
山口道夫

2.

団体名：NPO法人GIS総合研究所茨城

職名・氏名：代表理事 安原一哉

3.

団体名：常総市教育委員会学校教育課

職名・氏名：課長 吉山貴司

4.

団体名：国土交通省関東地方整備局下館河川
事務所

職名・氏名：調査課長 星尾日明

顧問教員

伊藤 哲司（人文社会科学部・教授）

参加者

- ・川原涼太郎（工学部機械工学科 3年）
- ・石津 彰理（人文学部社会科学地域研究・社会学コース 2年）
- ・外間 花怜（人文学部人文コミュニケーション学科 4年）
- ・岩崎 彩（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）
- ・山口紗奈子（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）
- ・飯塚子都香（人文学部人文コミュニケーション学科 3年）

- ・鈴木 真由（人文学部社会科学科 2年）
- ・アリマ （人文学部文化科学科
院1年）
- ・鬼澤 麻美（人文学部社会科学科 2年）
- ・袖山 良美（人文学部人文コミュニケーション学科 4年）

プロジェクトの概要

2015年に発生した常総水害について、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所や、常総市教育委員会の協力のもと、その被災内容と被災者の方の体験を聞き取り冊子としてまとめ記録していくことを主な目的として活動している。また、常総水害の経験をこれからの世代を担う小中学生に対し、防災教育として伝えていく活動も昨年引き続き形で行っている。

●冊子発行について

茨大聞き書き隊Notesでは昨年度に聞き書き冊子の初版を作成しており、今年度作成した第二版では昨年度作成した冊子の内容を更改し、常総水害の現場がどのようなものであったかをより効果的に伝える内容とした。

主な内容としては、水害で被災された方の聞き書き記録、水害の発生時における浸水領域、聞き書き内容から推測される地域別の水害の進行状況、常総市内の小中学校にて実施した「防災ゲームクロスロード」などである。

●防災教育活動について

今年度も昨年度に引き続き、9月1日の防災の日に行われる常総市内一斉防災訓練にお

いて、常総市内の小中学校にて防災教育活動を行った。

今年度はNotesだけでなく市内の小中学校を筑波大学・下館河川事務所で分担して活動をした。また、今年度の防災教育活動にあたり、Notes以外から約10名（理学部・人文学部・教育学部）の協力者を募り行った。

茨大聞き書き隊Notesは昨年度と同様に「防災ゲームクロスロード」を行ったが、今回同日に活動した筑波大学や下館河川事務所は「マイタイムラインプロジェクト」をベースとして展開しており、多方面から防災教育活動を施すことができた。

プロジェクトの成果報告

●冊子発行について

今年度作成した第二版については約300部の発行をし、初版及び第二版の製作に関してご協力いただいた方々の他、全国の国土交通省全地方整備局、関東地方の全河川事務所、常総市内の全小中高等学校、常総市周辺地域の私立中学高等学校、茨城県南地域及び茨城県内の公立や大学の主要図書館に対して約200部分を送付していく。図1・2に第二版のページ例を示す。



【図1 第二版ページ例（表紙・裏表紙）】



【図2 第二版ページ例（経緯・浸水域）】

今回我々が作成した記録冊子は、これまでの茨城大学の水害調査団や国土地理院や内閣府の水害に関する記録と比較して、より被災した方々の生の声と発災時に人々がどういった行動をとるのかについてより詳細にまとめられたものとなっている。我々Notesの活動は今年度の第二版作成で一つの区切りはつくが、聞き書き冊子を全国各地に送付し冊子が各地で活用されることで、常総市の水害を常総市だけの教訓で終わらせないための礎になると考えている。

●防災教育活動について

今年度のNotesとしての防災教育活動は常総市内の絹西小学校、五箇小学校、菅原小学校、豊岡小学校、菅生小学校、岡田小学校、玉小学校、飯沼小学校、水海道西中学校の9つの小中学校にて行った。

今年度活動を行った上記の小中学校の中には、一昨年の水害において直接の被害を被ったものは少なかったこともあり、児童・生徒の中には一昨年の経験や記憶が薄くなっている人もいた。しかしその中でも、クロスロードゲームを児童と向き合いながら進めていく過程で皆が自分事として「水害の一場面でどう行動するか」を考えていくことができた。



地元で起きた災害であっても、丸二年がたったことにより記憶が薄くなってしまふ事から、今回我々が彼らのもとに出向き防災教育を施せたことは、現場の教職員の方々からも高い評価をいただいた。

今年度実施した防災教育活動の一部様子を



●今年度の活動全体について

今年度一年間の活動の中でNHK水戸放送局のラジオに二度出演することができた。常総市での水害がメディアでとりあげられる件数は減少していることから、水戸放送局からお声がけいただいたことは大変に大きかった。

今年度の活動を通して常総市内の小中学生には継続的に防災養育を施すことができた。しかし防災教育の本質としては未だ災害が起きていない地域にこそ、防災教育を施していくべきであることから、常総市内だけでなく茨城県内や関東地方の水害の危険性があげられる地域にも展開していくことが今後の課題であると考えられる。



図3,4,5にて示す。

- 【図3 水海道西中学校での様子】
- 【図4 飯沼小学校での様子】
- 【図5 岡田小学校での様子】